

第37回がん検診のあり方に関する検討会	資料4
令和5年1月30日（月）	

被用者保険におけるがん検診の実施状況について

厚生労働省保険局保険課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

2022年度保険者データヘルス全数調査について

■ 調査目的・内容

- 日本健康会議における「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の目標数値（KPI）の達成状況等の把握のほか、データヘルスや予防・健康づくりの取組状況について全保険者（市町村国保、健保組合、共済組合、国保組合、協会けんぽ、広域連合）一斉に調査を実施
- 健保組合、共済組合、全国健康保険協会**（および国保組合）に対する調査票に**がん検診に関する項目も含む**

■ 回答期間

令和4年8月5日～9月13日

■ 調査対象年度

令和3年度

本調査結果に関する留意点

- 本調査は政府統計調査ではなく、回答が任意のアンケート調査である。
- 全国健康保険協会においては、注記がない限り、都道府県支部および船員保険を単位としてカウント。また回答者との調整により調査結果を修正し再集計済み。
- 国民健康保険の一部である国保組合の結果は参考資料として掲載。

「2022年度保険者データヘルス全数調査」（※）の概要

2022年9月14日時点

調査票		A	B				C
保険者	全体	市町村国保	健保組合	共済組合	国保組合	全国健康保険協会	広域連合
対象数（母数）	3,441	1,716	1,385	85	160	48	47
保険者別回答数	3,332	1,661	1,334	85	157	48	47
保険者別回答率	96.8%	96.8%	96.3%	100%	98.1%	100%	100%

※小数点以下第2位を四捨五入しています

※本調査は厚生労働省の令和4年度高齢者医療制度円滑運営事業費補助金にて実施

医療保険制度の体系

日本の医療保険制度において、被用者保険者である協会けんぽ・健康保険組合・共済組合の加入者数は、65歳までの医療保険加入者数の**約70%以上**を占め、被用者保険の大半を占めている。

後期高齢者医療制度

約17兆円

- ・ 75歳以上
- ・ 約1,890万人
- ・ 保険者数：47（広域連合）

前期高齢者財政調整制度（約1,590万人） 約7兆円

国民健康保険

（都道府県・市町村国保+国保組合）

- ・ 自営業者、年金生活者、非正規雇用者等
- ・ 加入者数：約2,850万人
- ・ 保険者数：約1,900

約9兆円

協会けんぽ

- ・ 中小企業のサラリーマン
- ・ **加入者数：約3,930万人**
- ・ 保険者数：1

※参考
・ 被保険者数：2,507万人
・ 被扶養者数：1,519万人
（協会けんぽ月報より引用）

約6兆円

健康保険組合

- ・ 大企業のサラリーマン
- ・ **加入者数：約2,830万人**
- ・ 保険者数：約1,400

※参考
・ 被保険者数：1,659万人
・ 被扶養者数：1,206万人
（令和4年度予算早期集計より引用）

健保組合・共済等 約5兆円

共済組合

- ・ 公務員
- ・ **加入者数：約910万人**
- ・ 保険者数：85

※1 加入者数・保険者数・金額は、令和4年度予算ベースの数値。

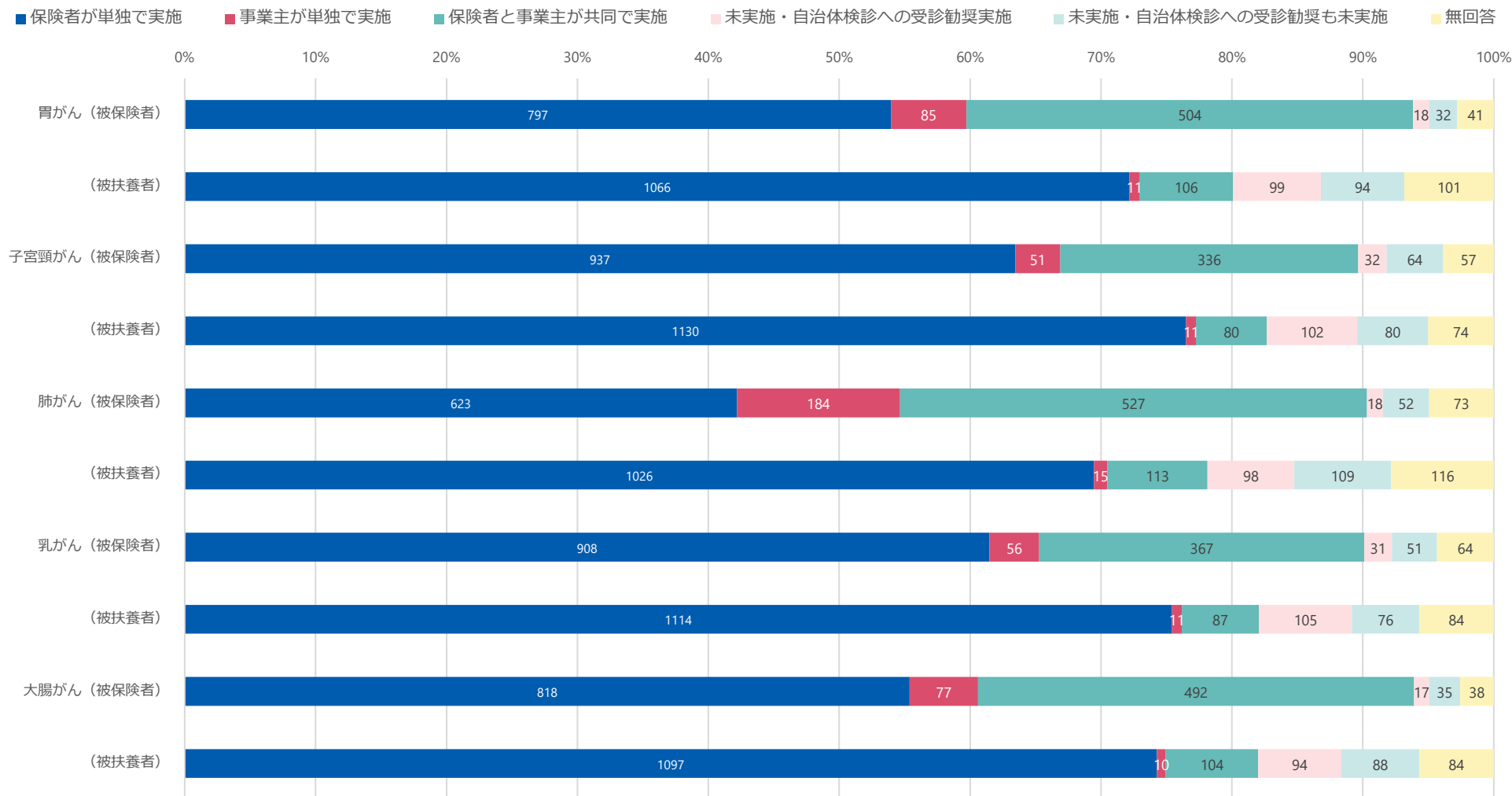
※2 上記のほか、法第3条第2項被保険者（対象者約2万人）、**船員保険（対象者約10万人）**、経過措置として退職者医療がある。

※3 協会けんぽ・健康保険組合の被保険者・被扶養者数は、令和4年3月時点の集計結果であり、その合計は上段記載の加入者数とは時点相違につき一致しない。

がん検診の実施状況（全被用者保険者）

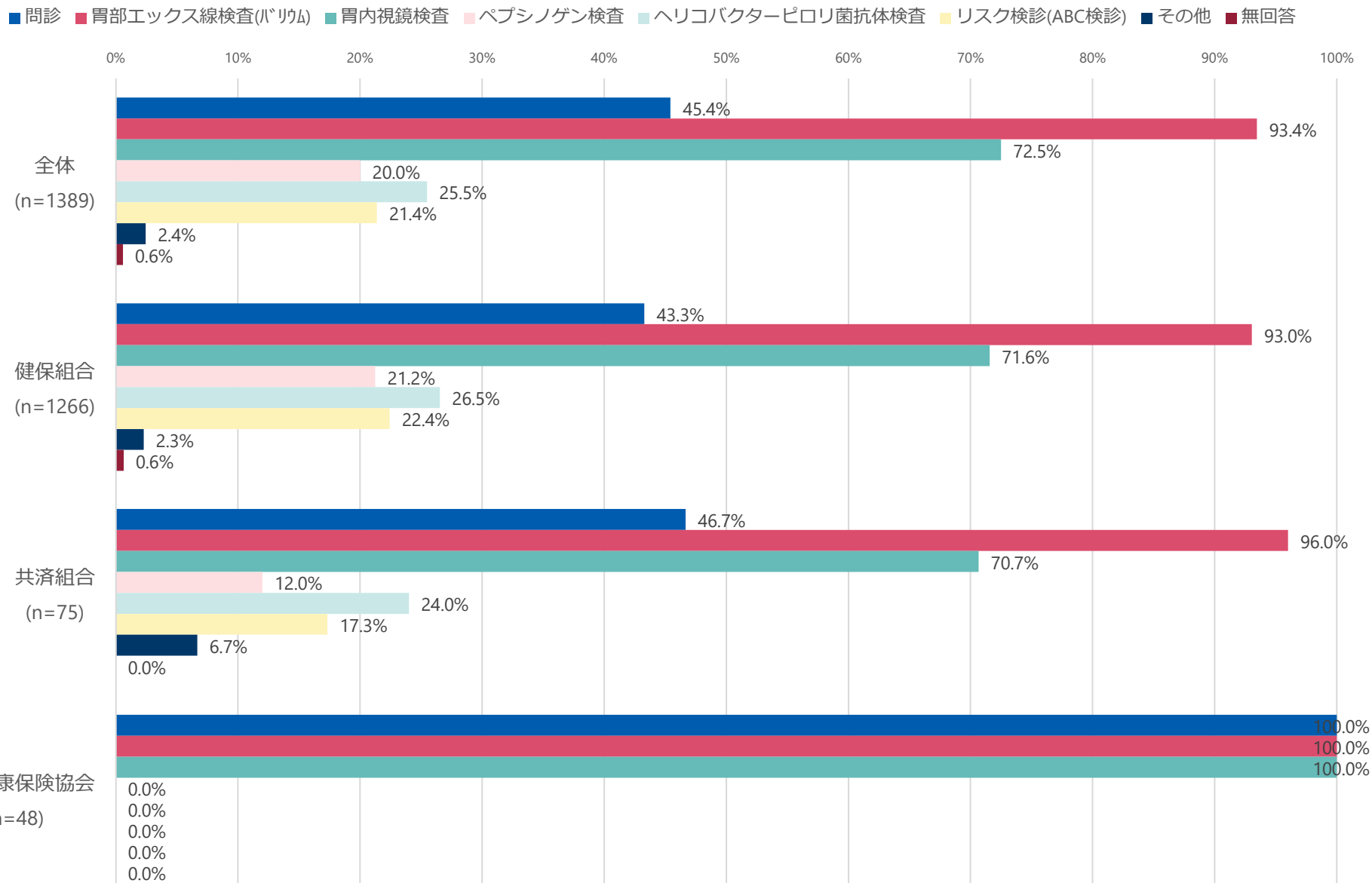
全被用者保険者
(n=1,467)

- いずれのがん検診においても保険者単独あるいは事業主と共同で実施している保険者が多い
- 被扶養者に対するがん検診では、保険者単独のほか、自治体がん検診への受診勧奨を実施する保険者も一定存在する



(グラフ内の数値は保険者数)

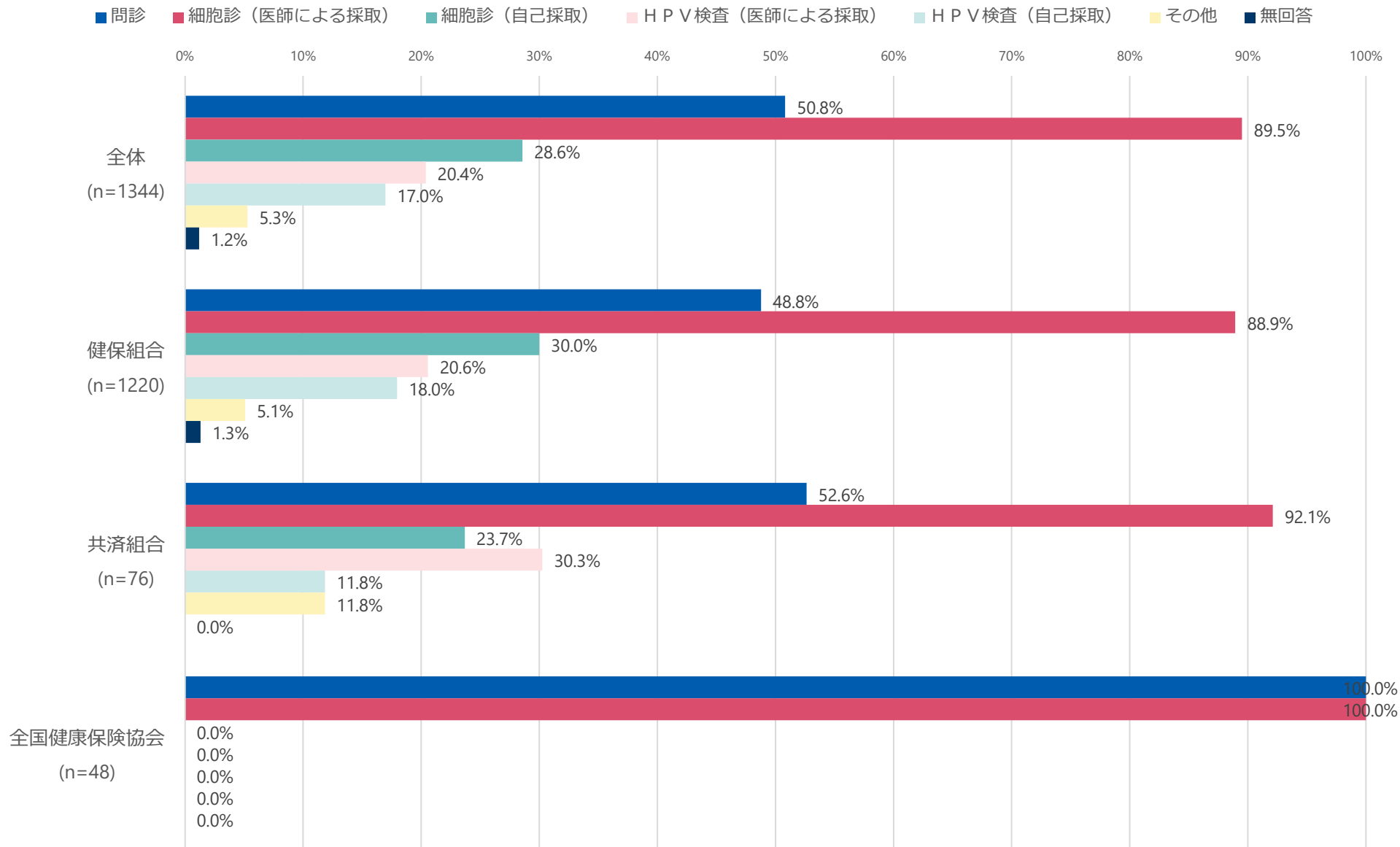
がん検診の検査実施方法（胃がん）



※複数回答可

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

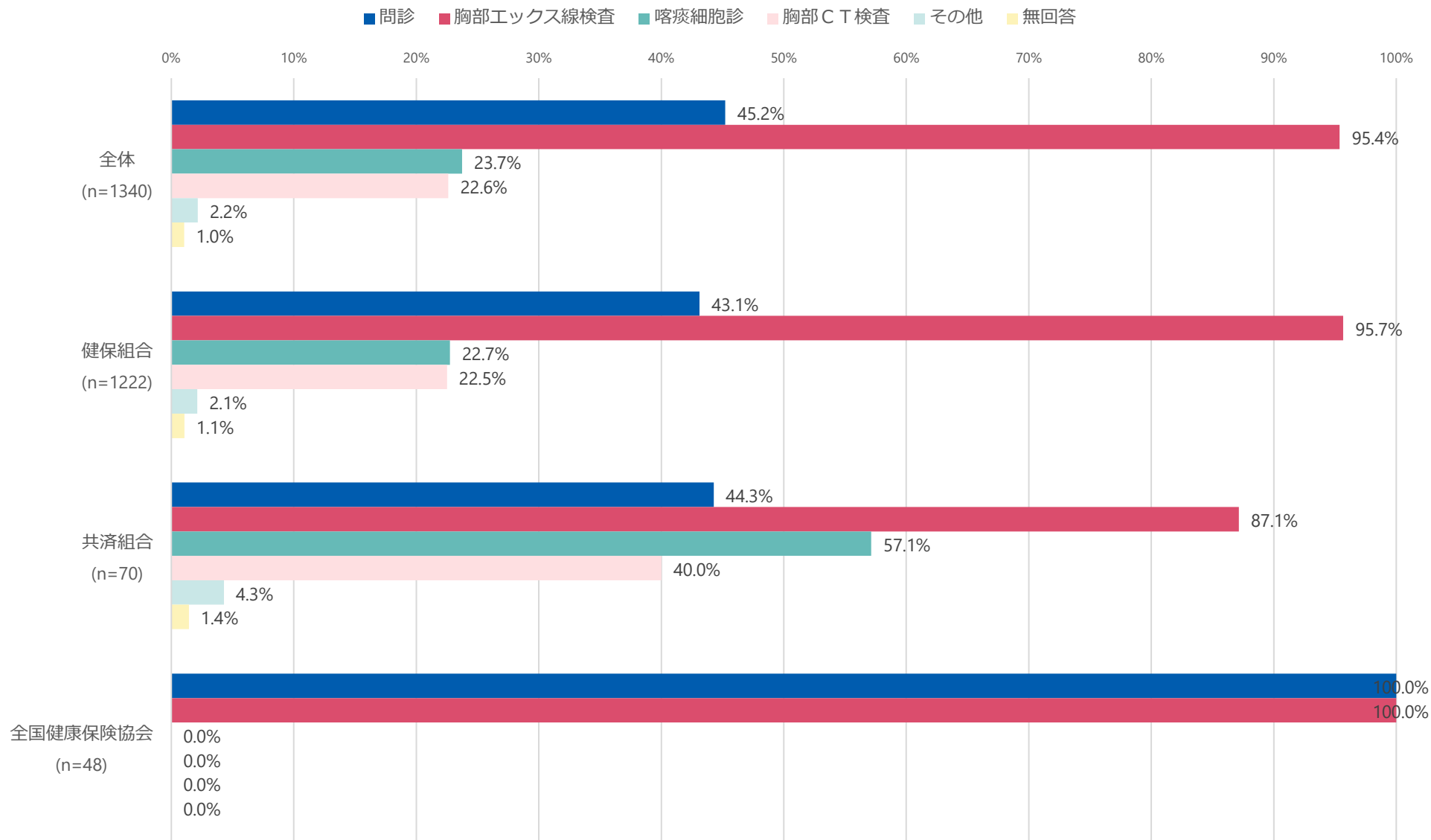
がん検診の検査実施方法（子宮頸がん）



※複数回答可

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

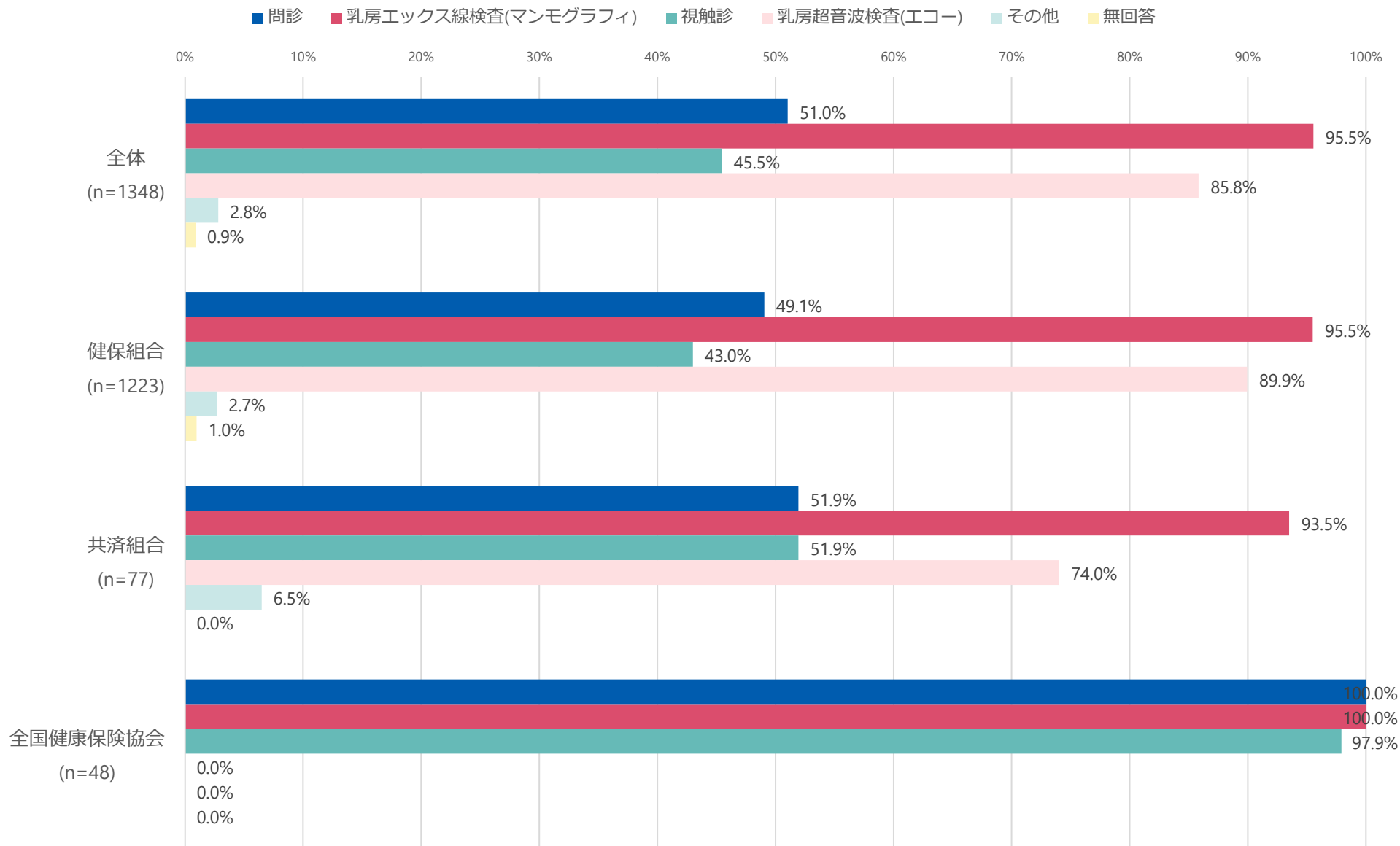
がん検診の検査実施方法（肺がん）



※複数回答可

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

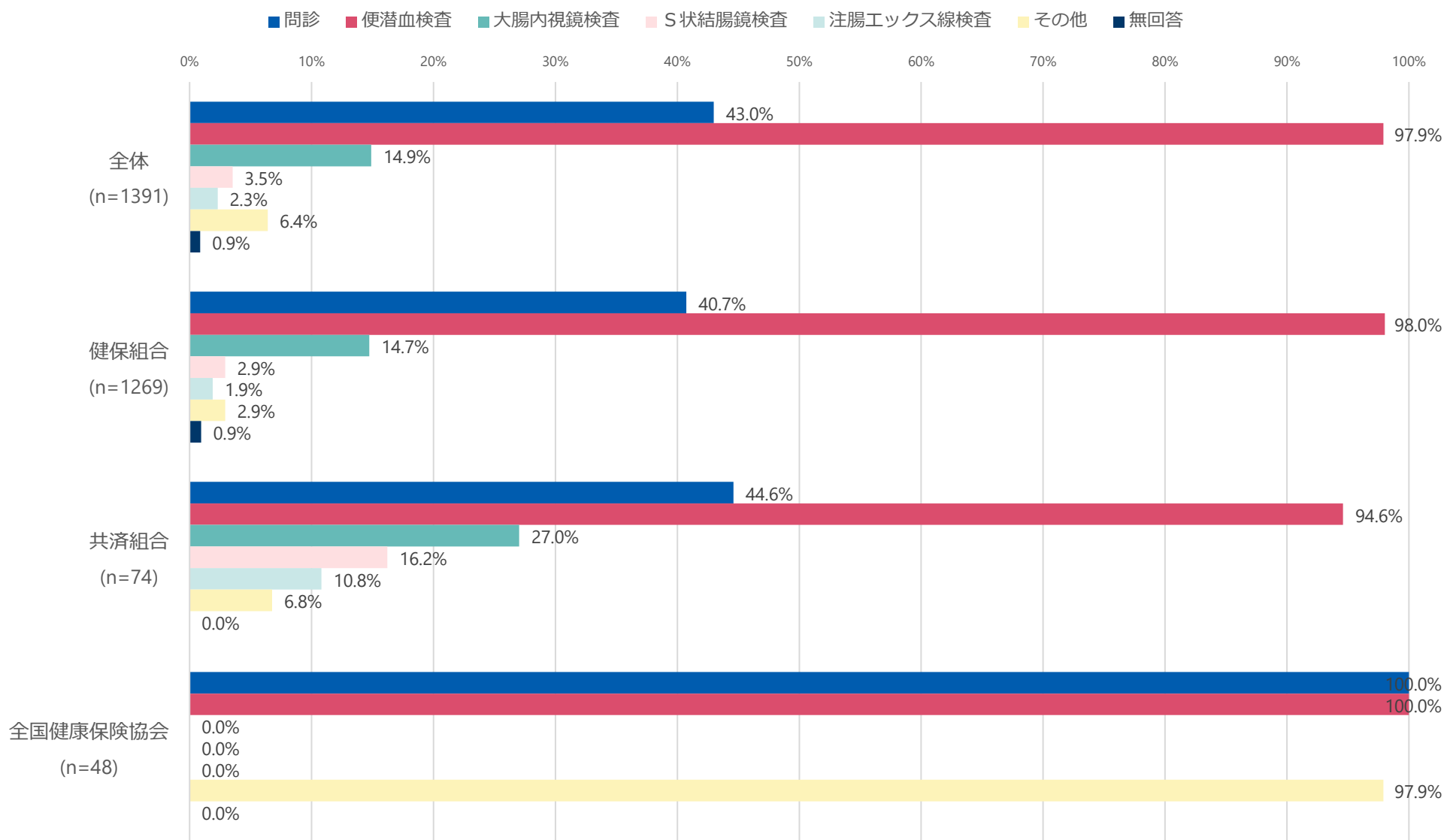
がん検診の検査実施方法（乳がん）



※複数回答可

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

がん検診の検査実施方法（大腸がん）



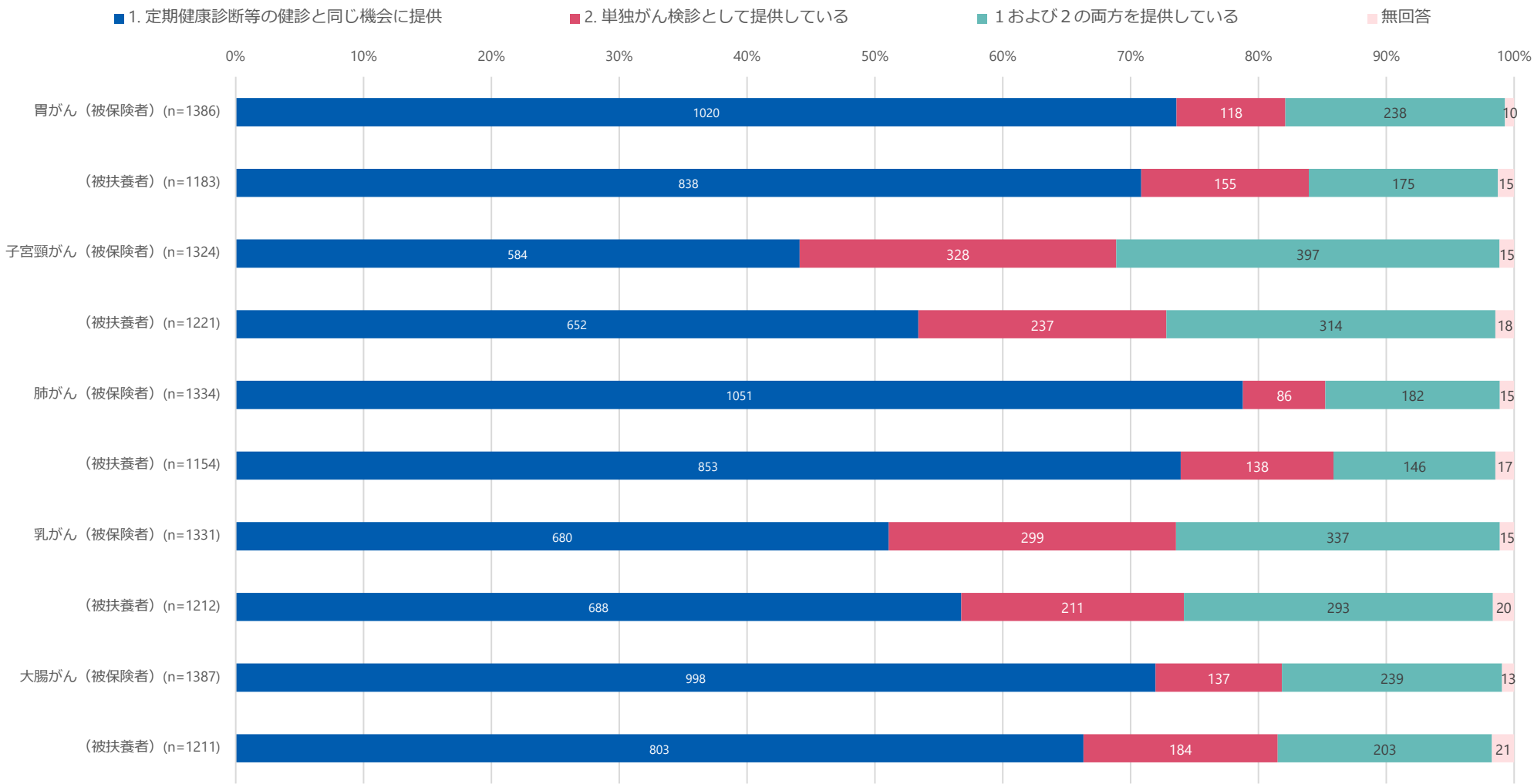
※複数回答可

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

がん検診の受診機会（全被用者保険者）

全被用者保険者

- がん検診を単独で実施している保険者よりも定期健康診断等の健診とあわせて同じ機会に提供する保険者が多い
- 資格区分（被保険者・被扶養者）別では傾向に大きな違いはない



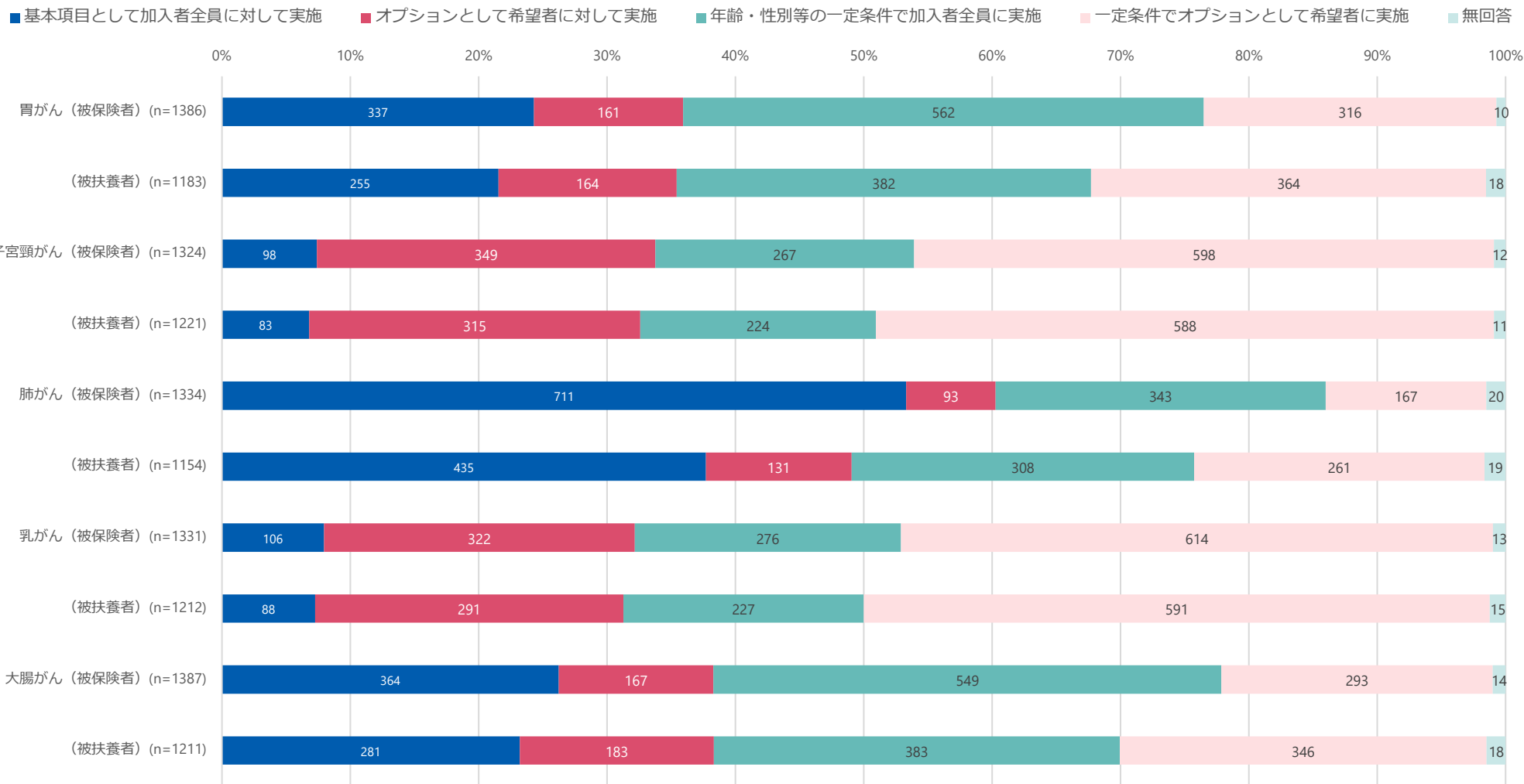
（グラフ内の数値は保険者数）

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

がん検診の実施範囲（全被用者保険者）

全被用者保険者

- がん検診ごとに傾向に大きな違いがあり、特に肺がん検診については基本項目として加入者全員に実施されることが多い
- 胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がんにおいては、希望者へのオプションあるいは一定条件下で提供されることが多い



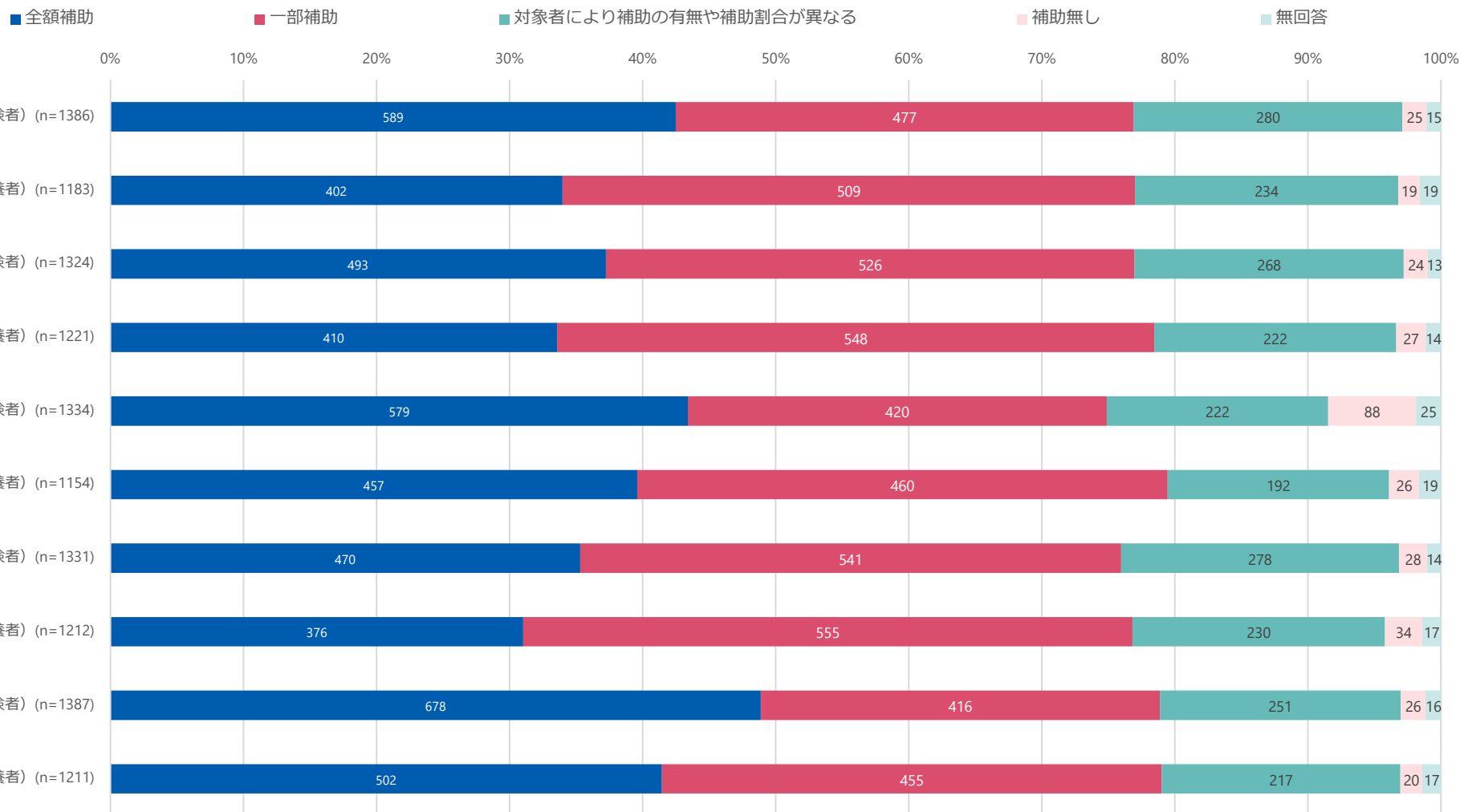
(グラフ内の数値は保険者数)

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

がん検診の費用負担にかかる保険者の補助（全被用者保険者）

全被用者保険者

- いずれのがん検診においても、一律で「全額補助」あるいは「一部補助」を実施している保険者が多い
- 他方で、対象者により補助の有無や補助割合が変動する保険者も一定存在



(グラフ内の数値は保険者数)

※各がん検診の実施状況において、実施していると回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

(補足) がん検診の対象者・受診者数の集計定義について

※本設問における回答方法の定義は以下の通り

※保険者が把握している「対象者数」及び「受診者数」の全数をそれぞれご記載ください。

そのうえで、「被保険者（組合員）」と「被扶養者」で分けることができる場合には、内訳も記載してください。

※受診者数については、8g-Q4における実施方法や8g-Q5における費用補助の回答に関わらず、

保険者または事業主で実施・補助しているがん検診の受診者を含みます。

※実施・把握していない場合は空欄とし、該当者がいない場合は「0」と記載してください。

※本設問において、対象者数および受診者数は下記「がん検診の対象者・受診者の集計定義」に基づき集計してください。

※対象者の年齢基準は調査年度末の年齢としてください。また年度途中に加入・喪失した者は集計対象外としてください。

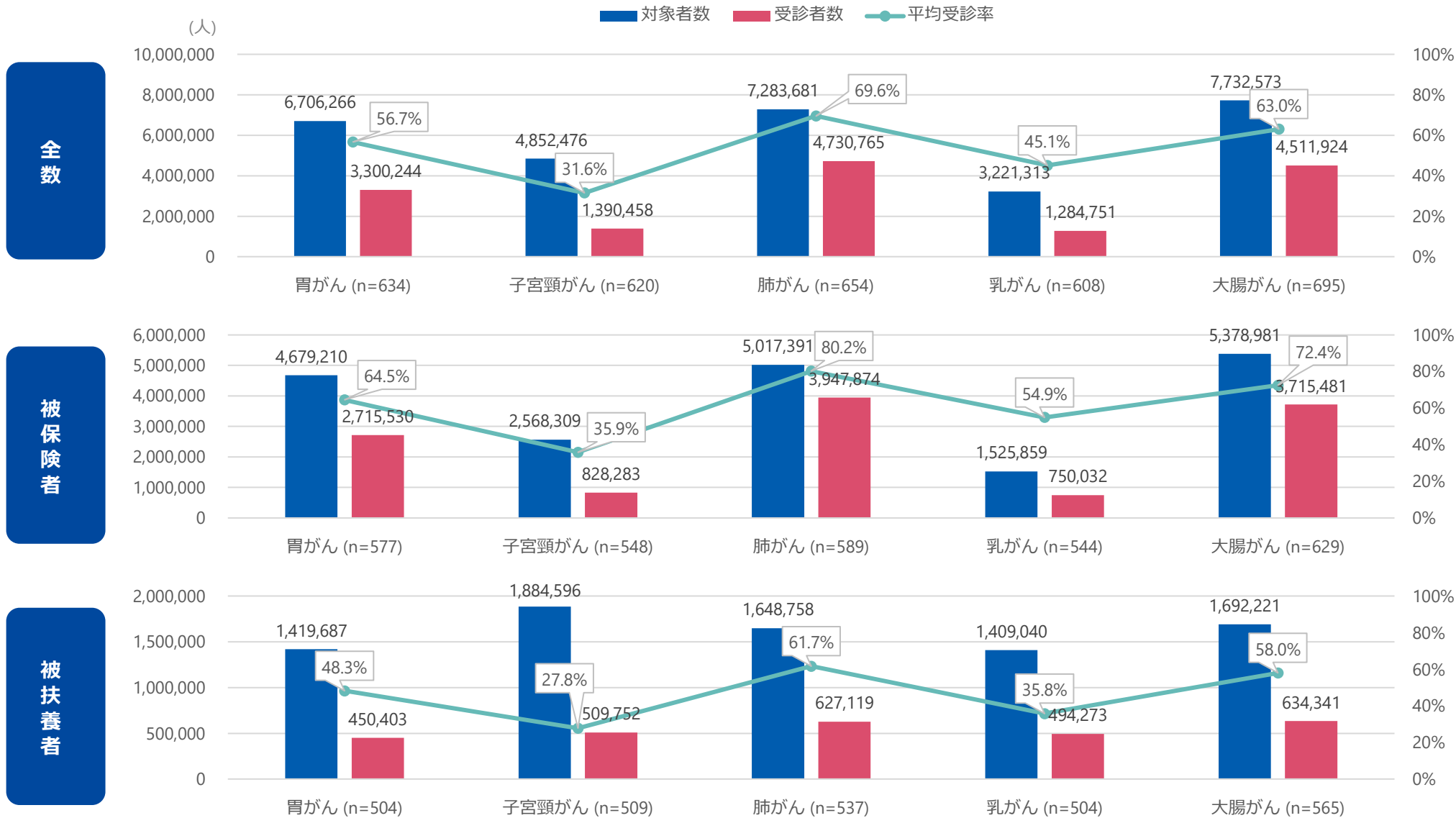
※胃がん、子宮頸がん、乳がんについては調査年度及びその前年度の2年度にわたり、加入していた者を集計対象としてください。

※集計する受診者数について検査項目は問いません。ただし、延べ人数ではなく実人数で集計することとしてください。

がん検診の対象者・受診者の集計定義		
種類	対象者（分母）	受診者（分子）
胃がん検診	41歳以上の者	対象者のうち、調査年度（2021年度）およびその前年度（2020年度）に1度でも実施した者
子宮頸がん検診	21歳以上の女性	対象者のうち、調査年度（2021年度）およびその前年度（2020年度）に1度でも実施した者
肺がん検診	40歳以上の者	対象者のうち、調査年度（2021年度）に実施した者
乳がん検診	41歳以上の女性	対象者のうち、調査年度（2021年度）およびその前年度（2020年度）に1度でも実施した者
大腸がん検診	40歳以上の者	対象者のうち、調査年度（2021年度）に実施した者

がん検診の対象者・受診者数（全被用者保険者※）

※ 健保組合 + 共済組合のみ



・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする（なお、全国健康保険協会においては集計から除外）。
 ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診の要精密検査の対象者把握と受診勧奨の状況（全被用者保険者）

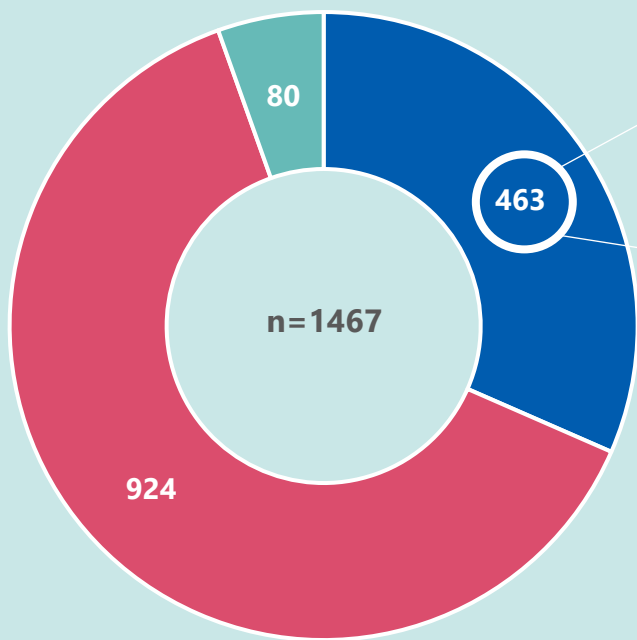
全被用者保険者

- 要精密検査対象者を把握している保険者はおよそ3割程度であり、そのうち7割以上が対象者に受診勧奨を実施
- 受診勧奨を行う保険者のうち8割以上はその後の受診状況を確認し、本人からの情報提供やレセプトによる確認が多い

要精密検査対象者の把握

※いずれかのがん検診の種類でひとつでも実施している保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

■ 把握している ■ 把握していない ■ 無回答

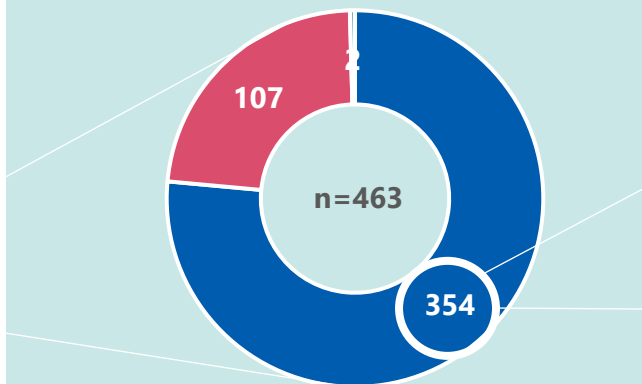


（グラフ内の数値は保険者数）

要精密検査対象者への受診勧奨

※要精密検査対象者を把握していると回答した保険者が回答対象

■ 実施している ■ 実施していない ■ 無回答

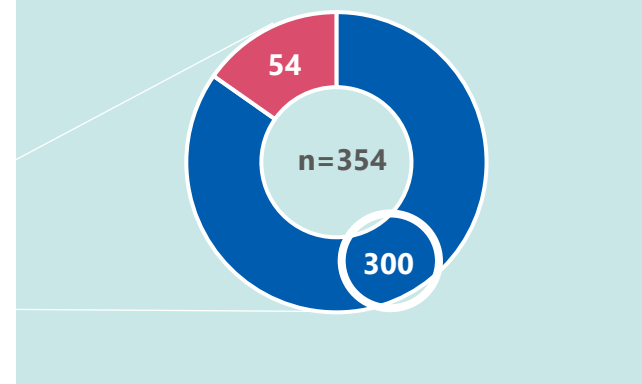


（グラフ内の数値は保険者数）

受診勧奨後の受診状況の確認

※要精密検査対象者への受診勧奨を実施していると回答した保険者が回答対象

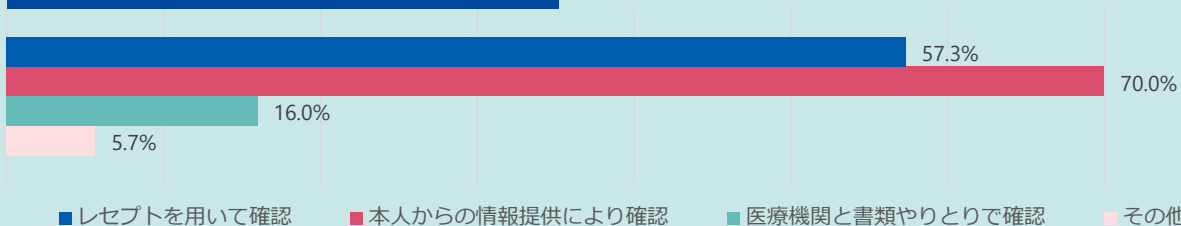
■ 確認している ■ 確認していない



（グラフ内の数値は保険者数）

受診状況の確認方法

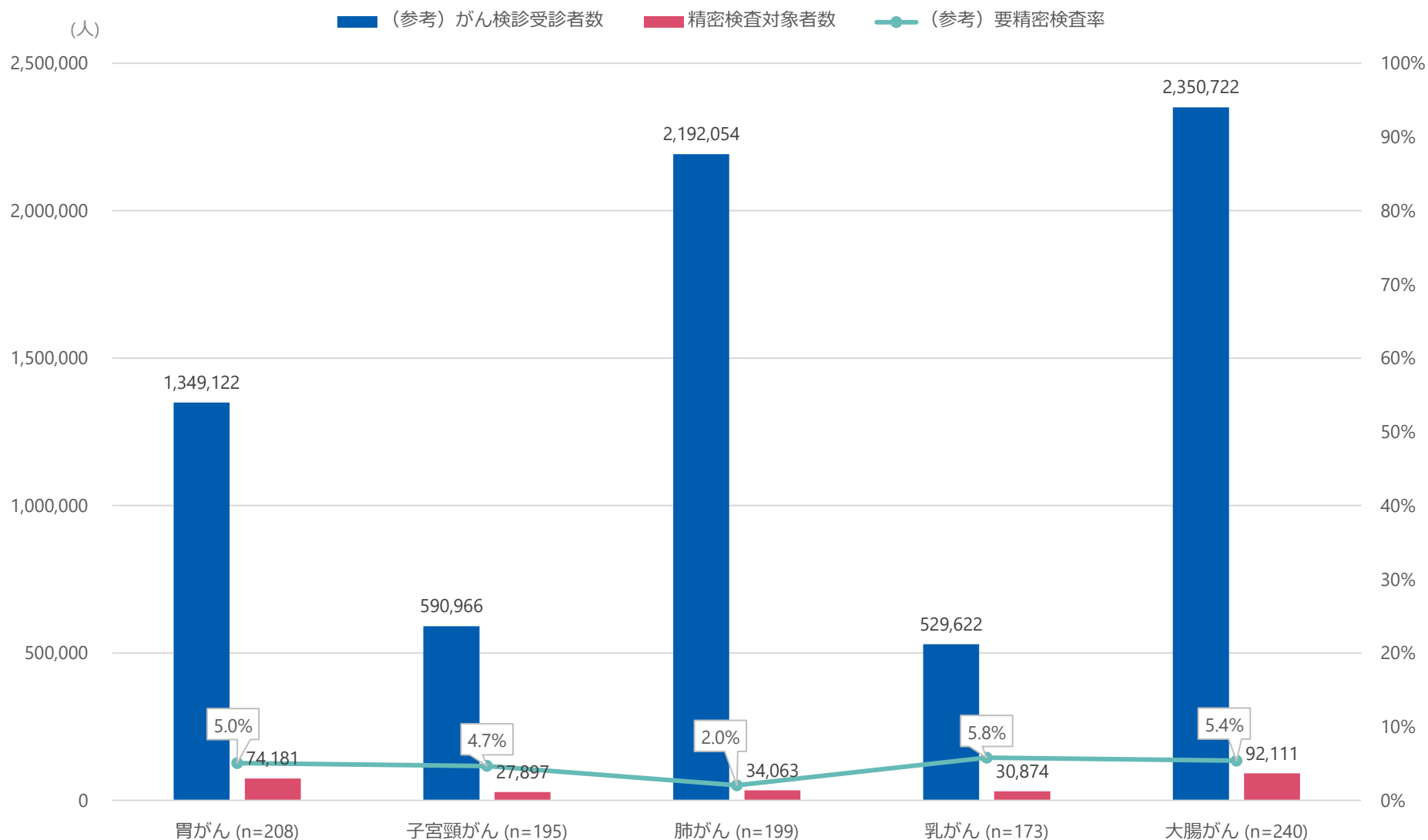
※受診勧奨後の受診状況を確認していると回答した者のみが回答対象 n=300（複数回答可）



■ レセプトを用いて確認 ■ 本人からの情報提供により確認 ■ 医療機関と書類やりとりで確認 ■ その他

がん検診の要精密検査対象者数（全被用者保険者※）

※ 健保組合 + 共済組合のみ



・ がん検診の結果から要精密検査となった者を把握している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査受診者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする
 ・ 要精密検査率は、集計対象の保険者およびそのがん種別ごとにおいて、精密検査対象者数をがん検診受診者数で除した値の単純平均。なお、100%を上回った保険者は除外。

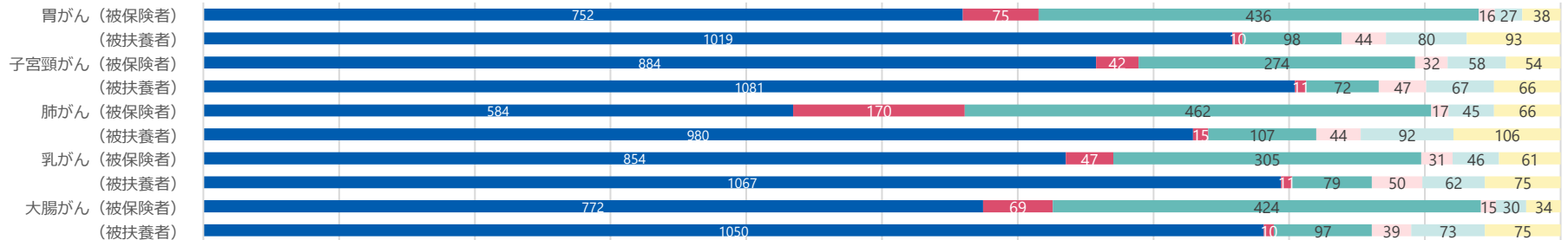
参考資料



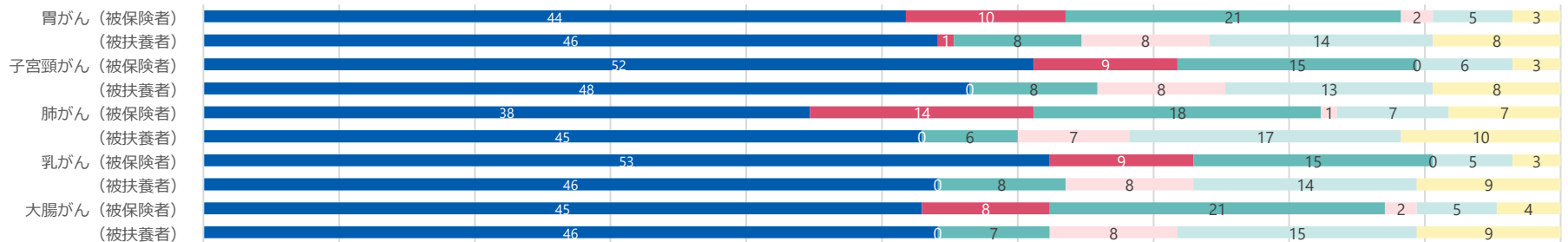
がん検診の実施状況（保険者種別内訳）

■ 保険者が単独で実施 ■ 事業主が単独で実施 ■ 保険者と事業主が共同で実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨も未実施 ■ 無回答

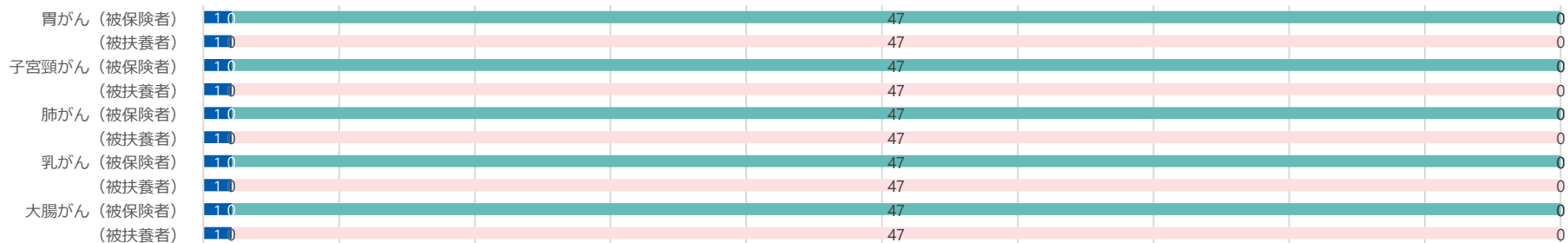
健保組合
n=1334



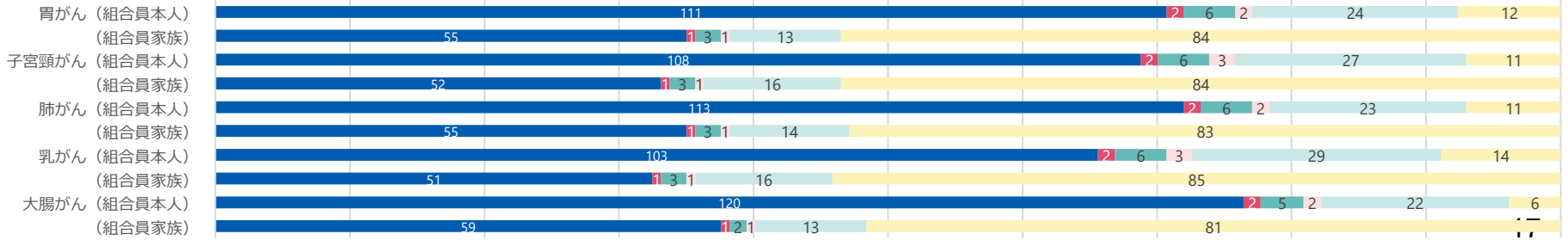
共済組合
n=85



全国健康保険協会
n=48



国保組合
n=157



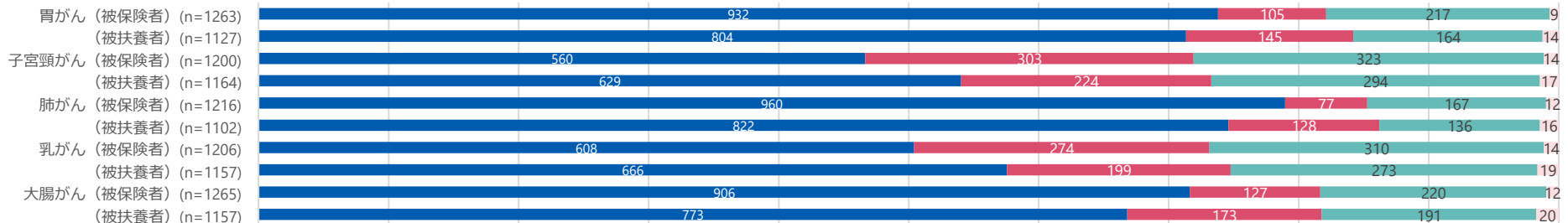
(グラフ内の数値は保険者数)

がん検診の受診機会（保険者種別内訳）

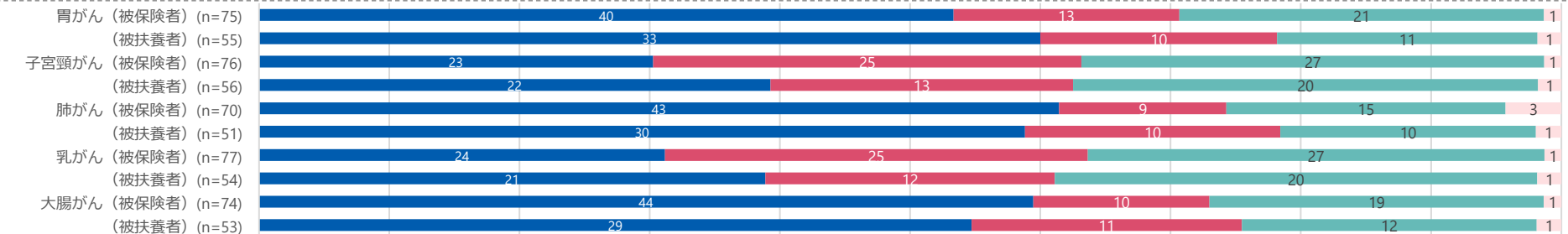
■ 1. 定期健康診断等の健診と同じ機会に提供 ■ 2. 単独がん検診として提供している ■ 1および2の両方を提供している ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

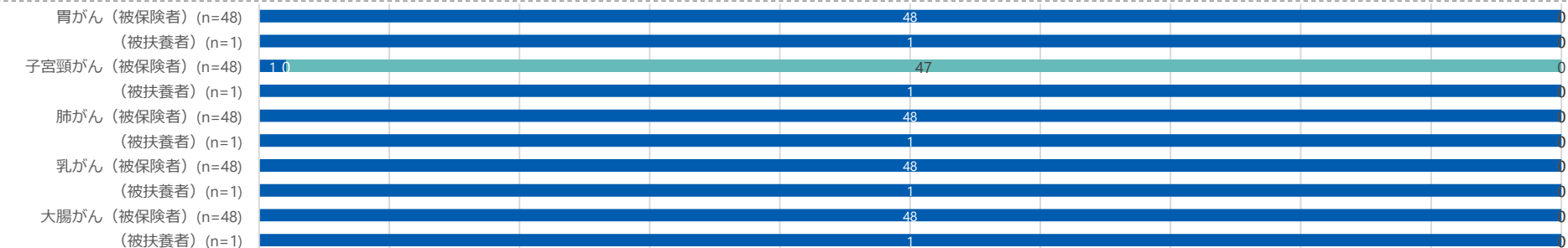
健保組合



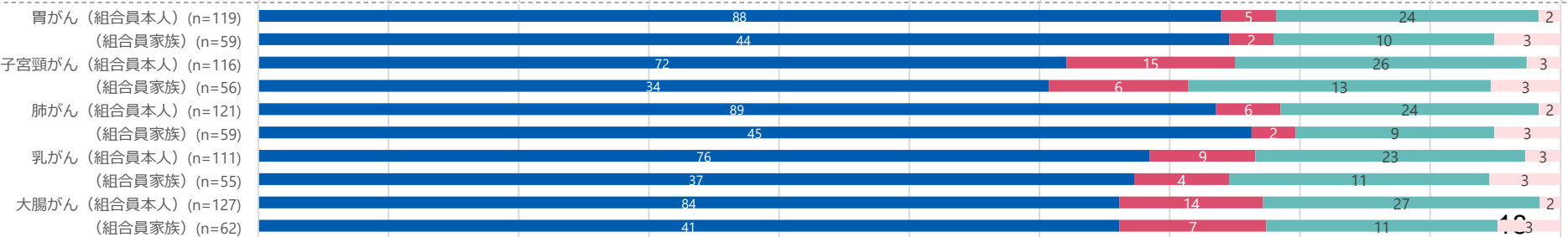
共済組合



全国健康保険協会



国保組合



(グラフ内の数値は保険者数)

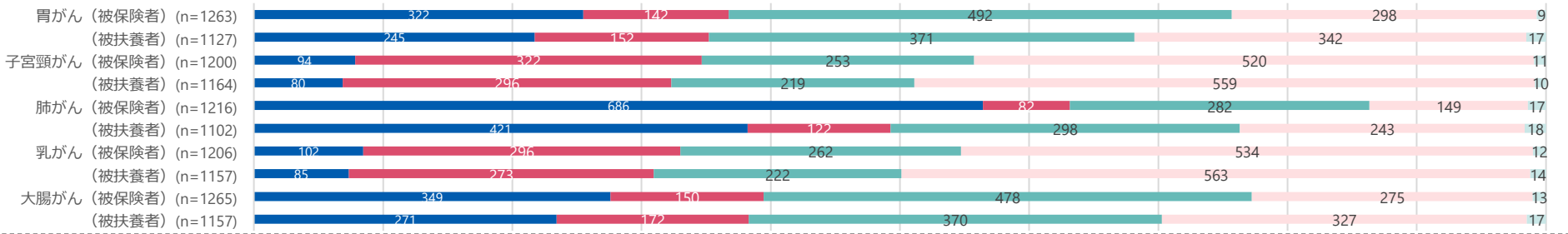
参考

がん検診の実施範囲（保険者種別内訳）

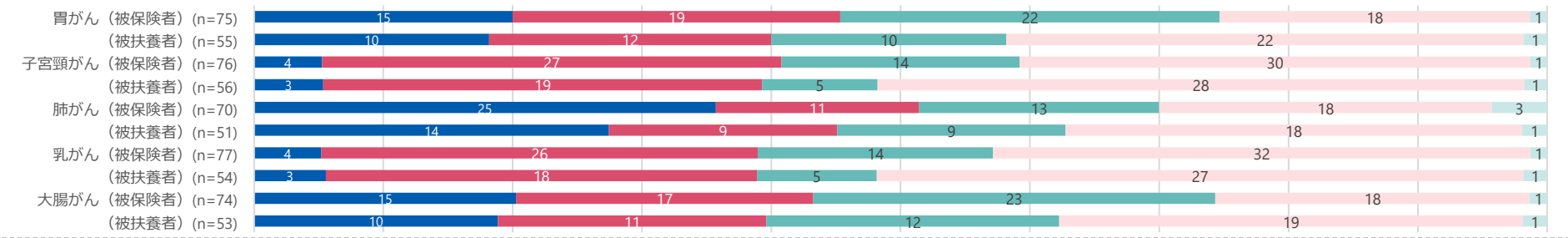
■基本項目として加入者全員に対して実施 ■オプションとして希望者に対して実施 ■年齢・性別等の一定条件で加入者全員に実施 ■一定条件でオプションとして希望者に実施 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

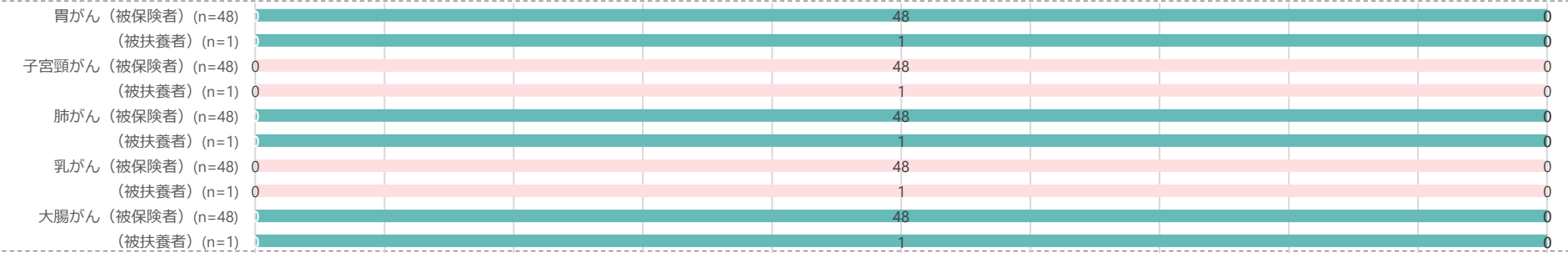
健保組合



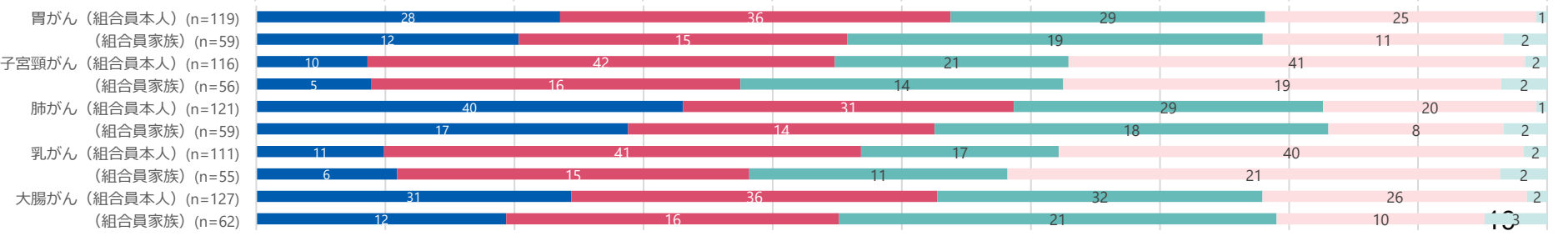
共済組合



全国健康保険協会



国保組合



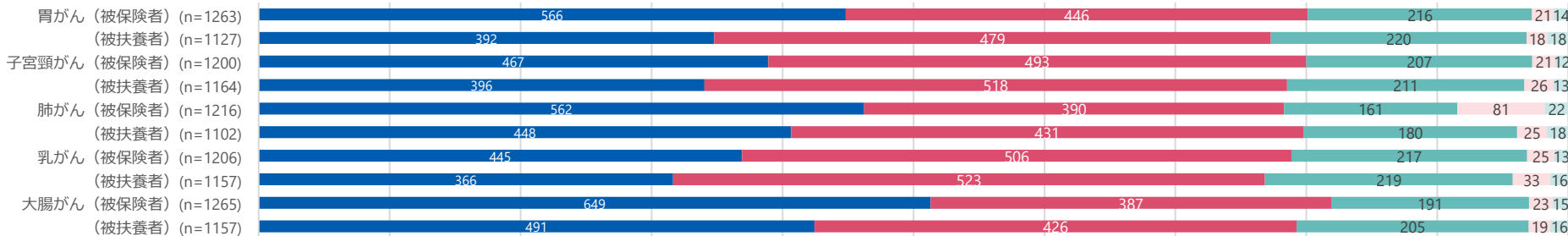
(グラフ内の数値は保険者数)

がん検診の費用負担にかかる保険者の補助（保険者種別内訳）

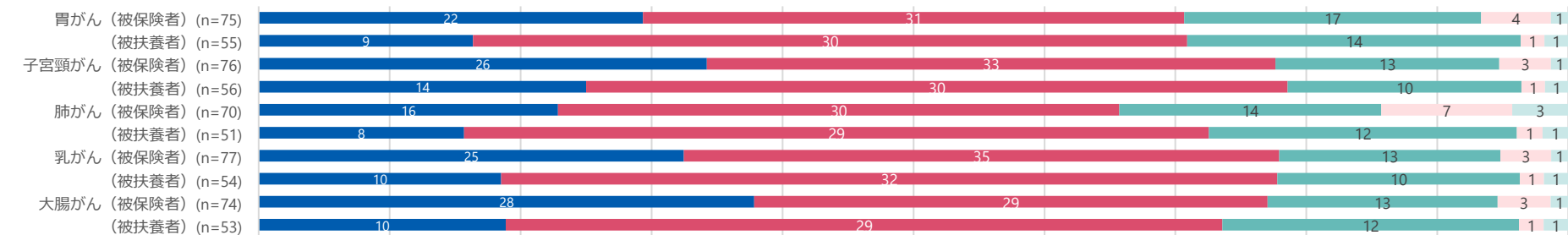
■ 全額補助 ■ 一部補助 ■ 対象者により補助の有無や補助割合が異なる ■ 補助無し ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

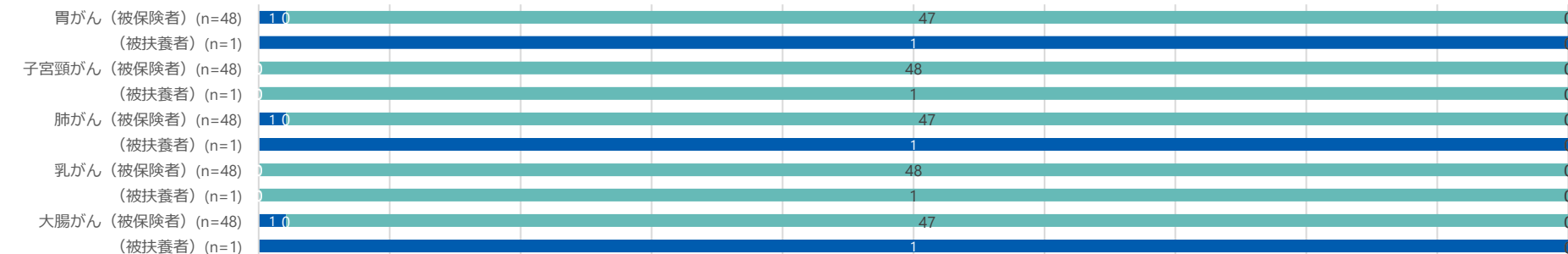
健保組合



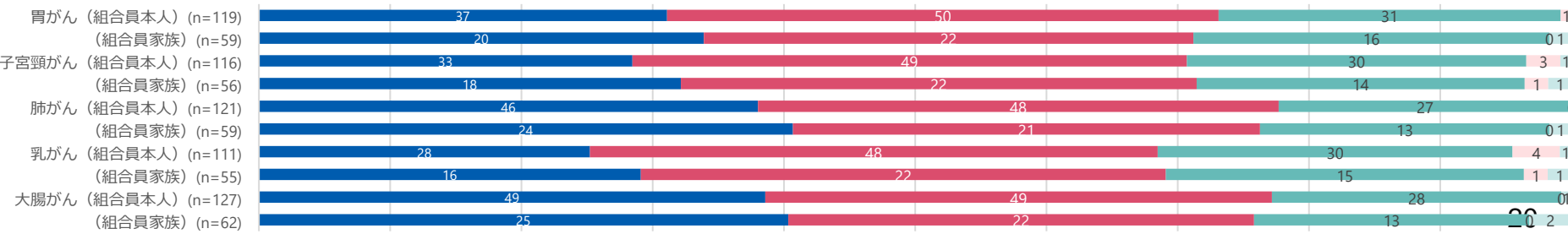
共済組合



全国健康保険協会

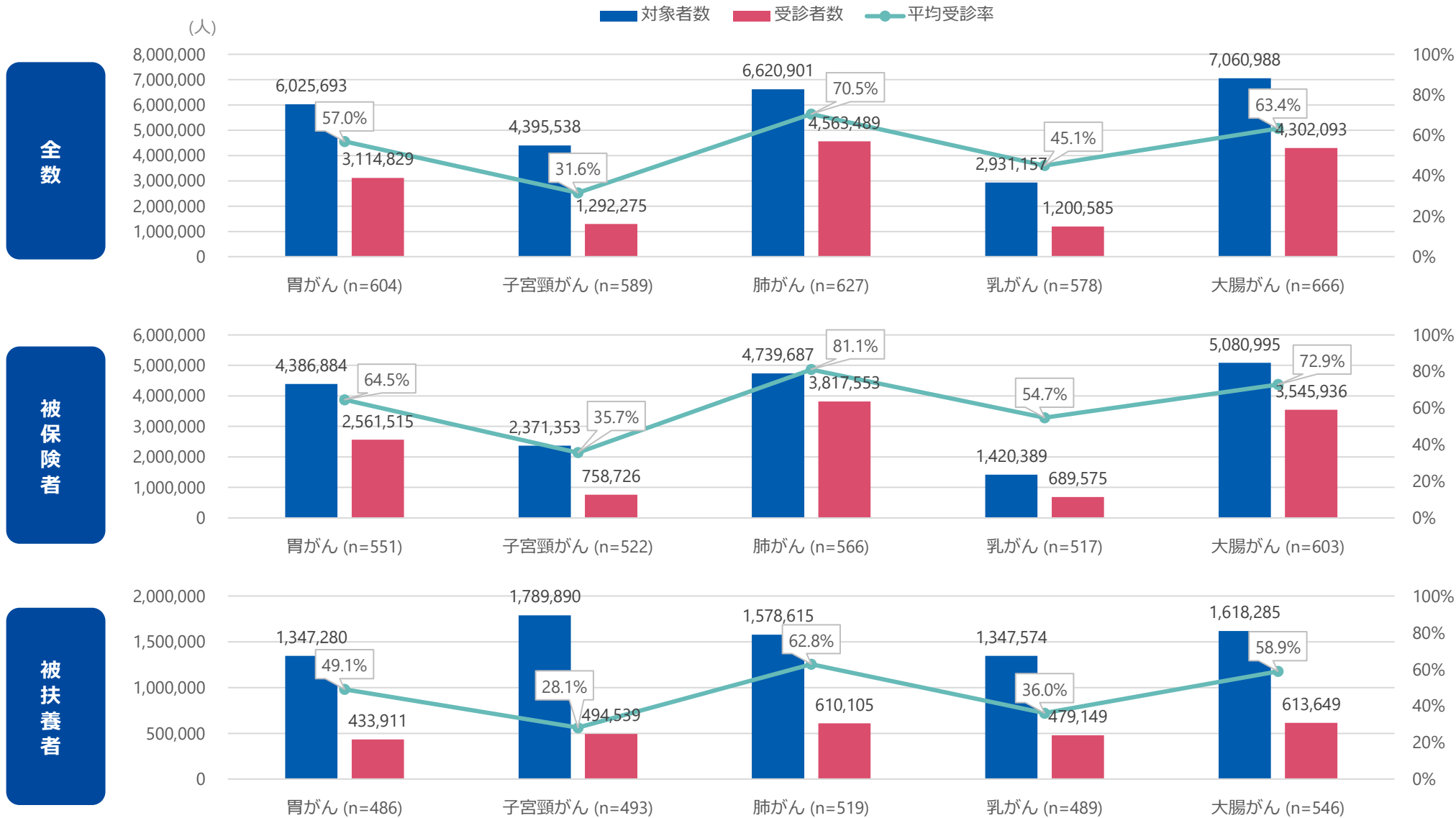


国保組合



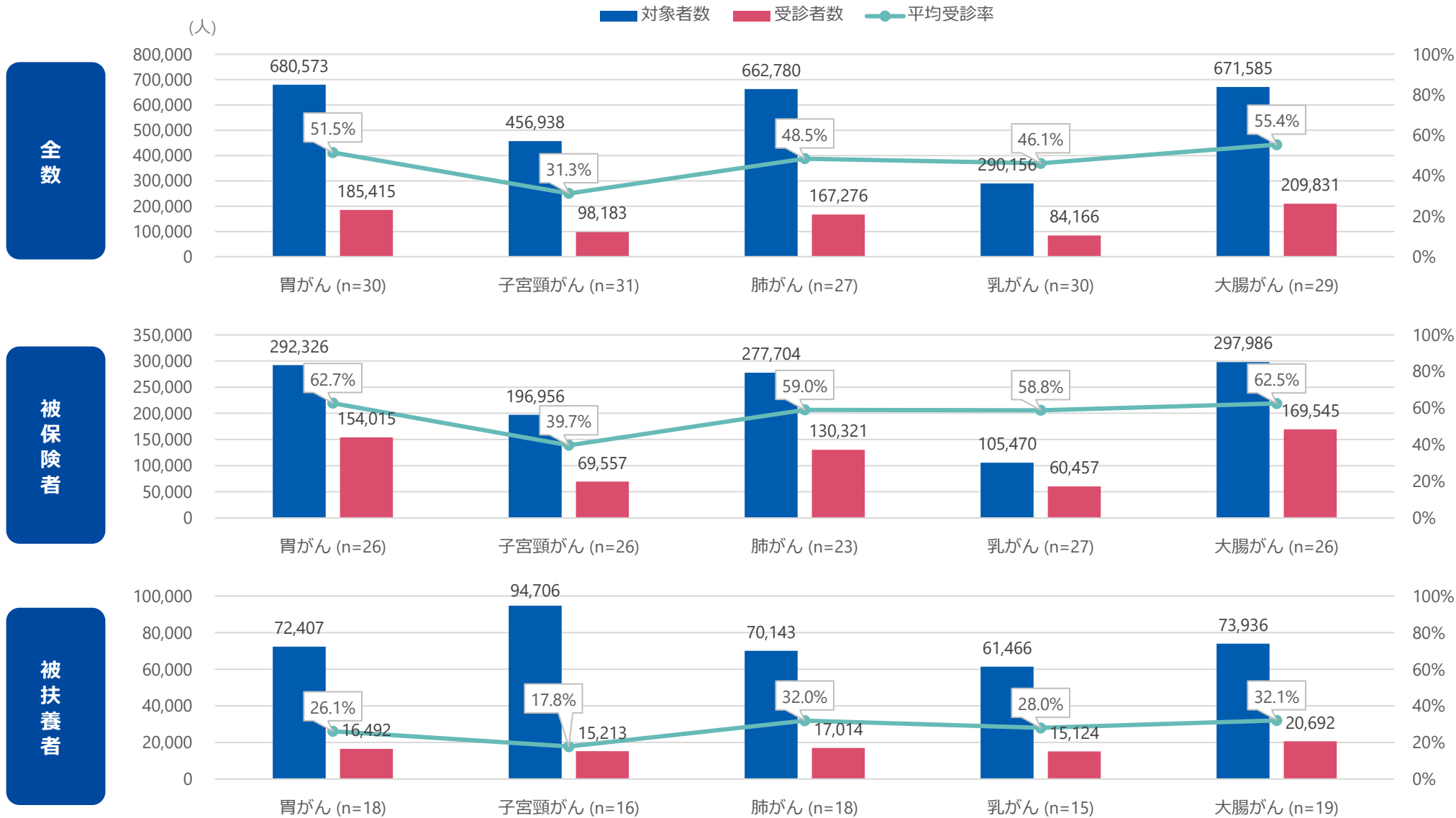
(グラフ内の数値は保険者数)

がん検診の対象者・受診者数（健保組合）



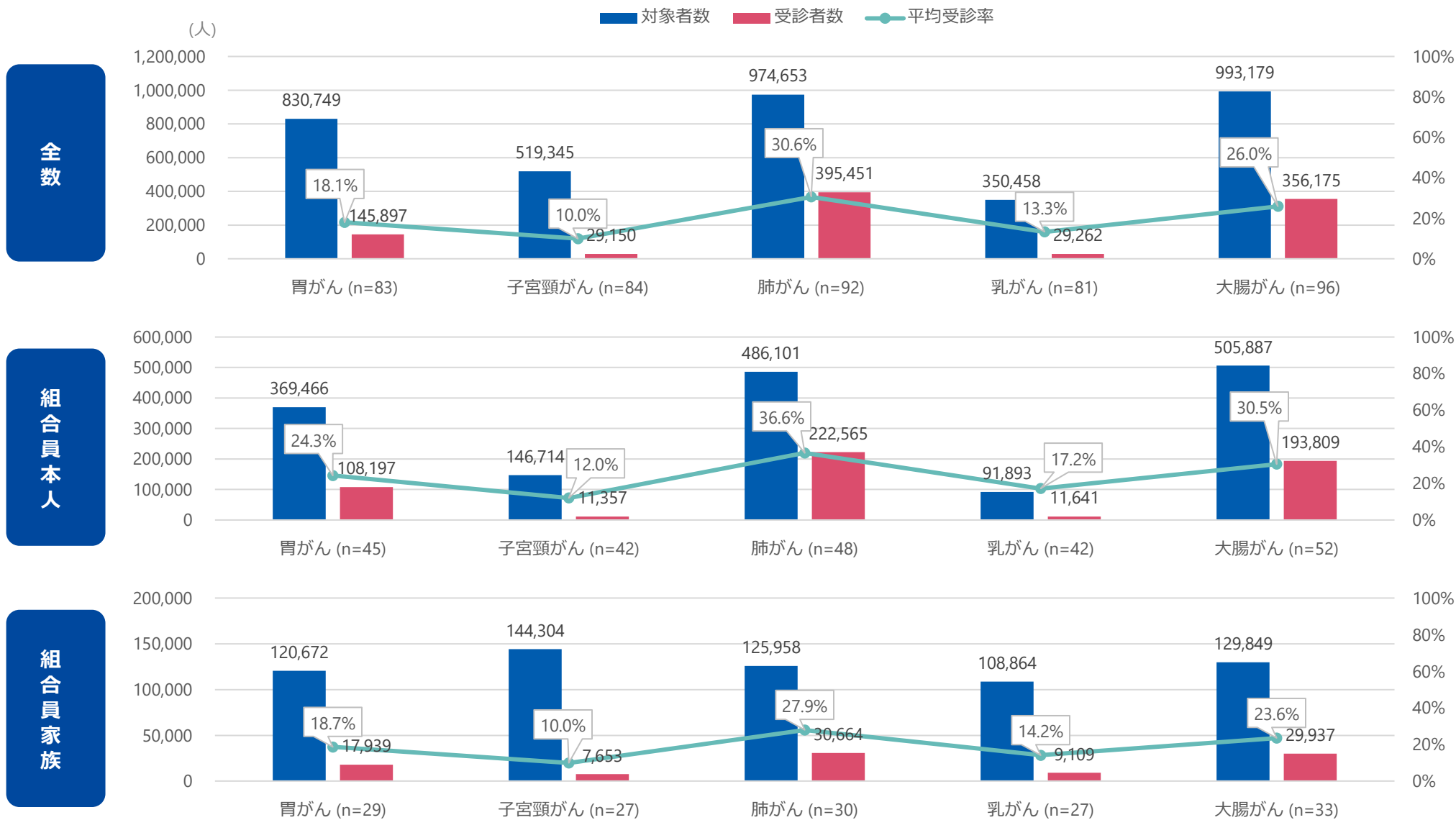
- がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
- がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診の対象者・受診者数（共済組合）



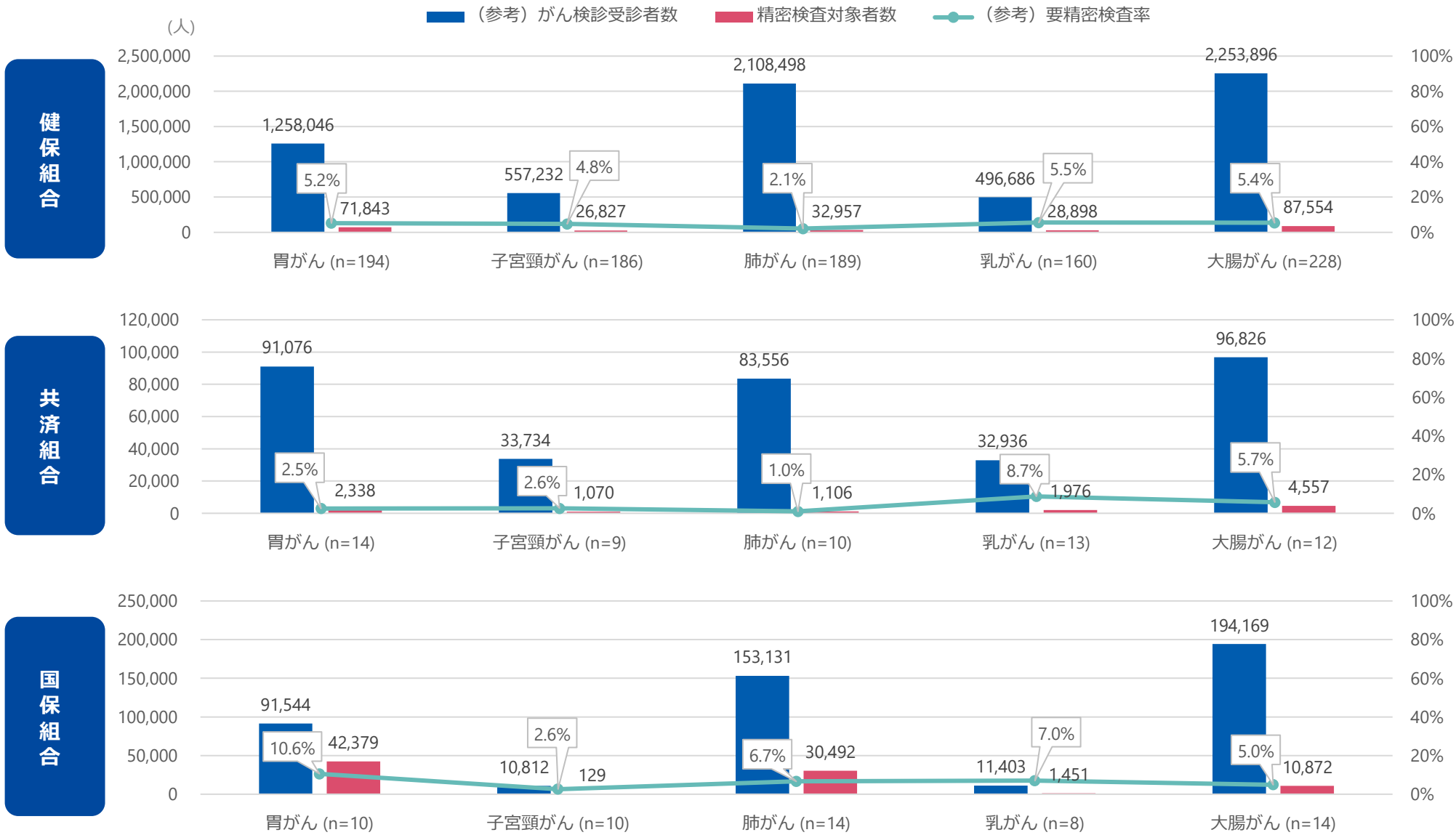
・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
 ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診の対象者・受診者数（参考：国保組合）



・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
 ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診の要精密検査対象者数（保険者種別内訳）



・ がん検診の結果から要精密検査となった者を把握している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査受診者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする
 ・ 要精密検査率は、集計対象の保険者およびそのがん種別ごとにおいて、精密検査対象者数をがん検診受診者数で除した値の単純平均。なお、100%を上回った保険者は除外。